

# 行財政改革・道州制等特別委員会資料

## ○ 行財政改革に関する調査

- ・ 岡山県住宅供給公社に対する県貸付金の清算の見通しと処理方法について

平成21年11月20日

土 木 部

# 岡山県住宅供給公社に対する県貸付金の 清算の見通しと処理方法について

平成19年11月に策定した外郭団体改革プランにおいて平成21年度末をもって解散することとしている岡山県住宅供給公社について、次のとおり同公社に対する県貸付金の処理等を行います。

## 1 公社からの要請内容

可能な限りの資産処理に努めてきたところであるが、県貸付金の返済が困難な見通しであるため、次のとおり要請があった。

### ① 代物弁済の要請

多くの未分譲地を抱える吉備高原団地と岡山・グリーンテラス郡については、資産処理に長期間を要することから、両団地の未分譲地で代物弁済とすることを認めていただきたい。

なお、代物弁済額は、現時点での販売額の総額としていただきたい。

### ② 債権放棄の要請

県貸付金額から代物弁済額を差し引いた額を限度とする額及びそれに伴う遅延損害金相当額の合計額を債権放棄していただきたい。

## 2 県としての対応

### (1) 基本的な考え方

公社の財務内容と資産処理の現況などを勘案し、以下の理由により、公社の要請を受け入れざるを得ないと判断している。

#### ① 代物弁済について

吉備高原団地と岡山・グリーンテラス郡は、県の要請に基づいて公社が引き受けた団地であるとともに、未分譲地の販売には長期間を要することから、既購入者に不安を与えないようにするため、早期に県が引き継ぎ、引き続き適正な管理等を行う必要があること。

#### ② 債権放棄について

公社唯一の設立団体としての責任を果たす観点から、債権放棄の要請に応じる必要があること。

### (2) 具体的な処理方法等

公社からの要請を踏まえ、県貸付金約75億円の清算の見通しと処理方法を別紙のとおりとする。

## 3 今後のスケジュール

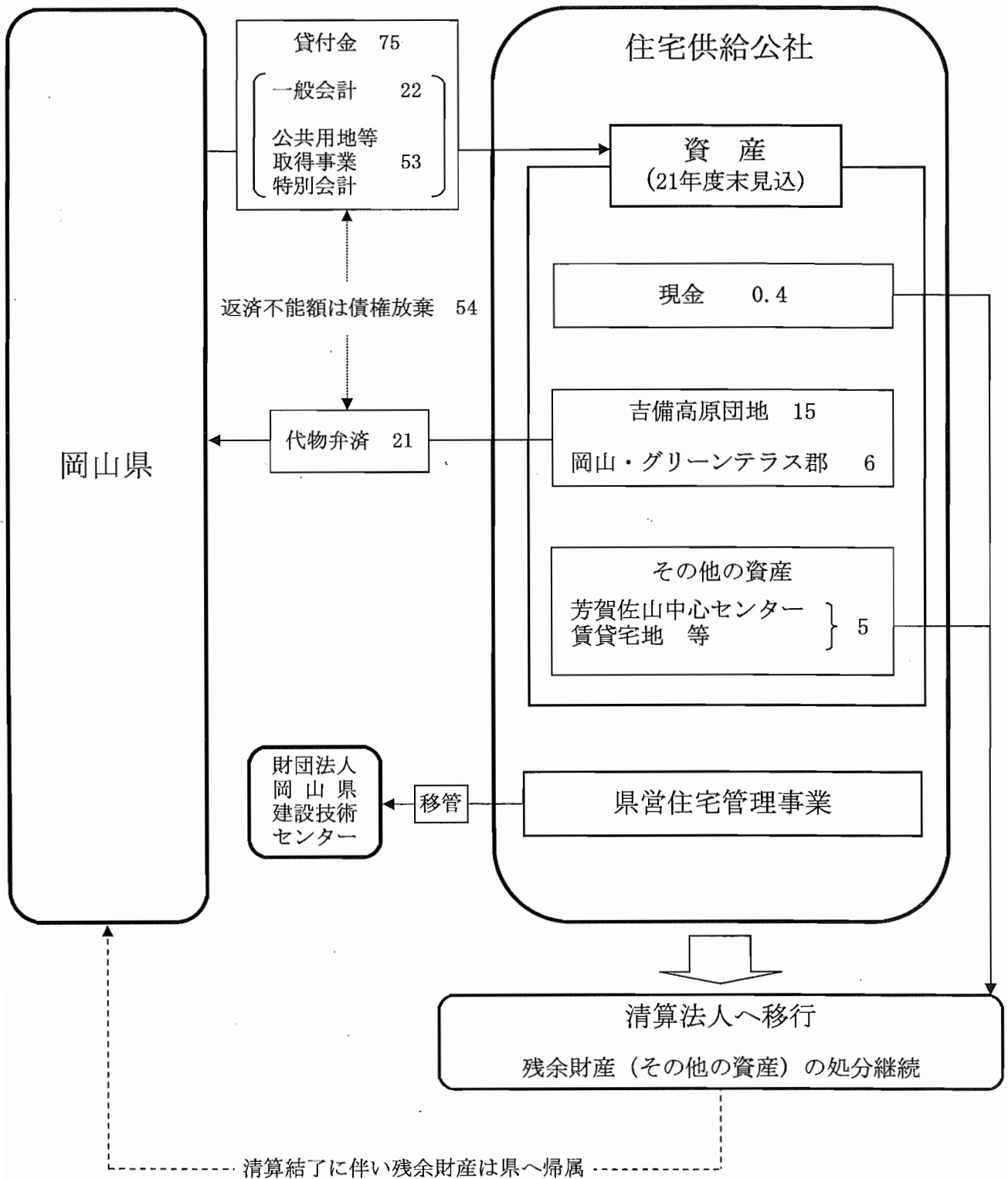
### (1) 設立団体（県）の議会の議決

平成21年11月定例会に解散議案を提出

### (2) 国土交通大臣の認可

解散議決を得た後、認可申請を行い、年度内には認可を受ける予定

(金額は概算、単位：億円)



注 代物弁済額及び債権放棄額については、現時点の概算見込額であり、今後精査の上、債権放棄のための議案と関連の補正予算案を2月定例会に別途提出させていただく予定である。

1 岡山県住宅供給公社の概要

(1) 沿革

地方住宅供給公社法（昭和40年法律第124号）に基づき、昭和41年1月に設立

(2) 目的

住宅を必要とする勤労者に対し、居住環境の良好な集団住宅及びその用に供する宅地を供給し、もって住民の生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。

(3) 基本財産

1,000万円（岡山県が全額出資）

(4) 役員

理事6名、監事2名

2 解散に向けた取組

(1) 経緯

平成19年11月 外郭団体改革プラン公表

分譲住宅を取り巻く社会経済情勢の変化に伴い、保有する団地の販売を今後継続的に行ったとしても、将来的に経営の安定化が図れる見込みが立たない状況であることから、保有資産の早期処分に一定の目途を立てた後に、平成21年度末をもって解散

平成20年11月 解散に向けた資産処理方針等を決定

平成21年 3月 会計基準の改正により平成20年度決算で約31億円の債務超過

平成21年 6月～ 吉備高原団地、岡山・グリーンテラス郡の資産処理を実施

(2) 主な資産処理の状況

(単位：区画)

団 地 名		分譲開始	全体 計画 A	21年度 分譲	21年度 末累計 (見込) B	差引残 A-B	備 考
吉備高原団地	前 期	S62～H6	431	0	398	33	
	後期Aゾーン	H9.10～	420	1	101	319	公募により1区画売却
	計		851	1	499	352	
オリーブ団地牛窓		H8.5～	70	0	17	53	瀬戸内市へ売却予定
しらうめ団地落合		H8.8～	129	0	24	105	真庭市へ売却予定
岡山・グリーンテラス郡		H12.4～	183	1	110	73	公募により1区画売却
中庄夢団地		H14.10～	118	2	118	0	完売
合 計			1,351	4	768	583	